

# 箕面ビジターセンターだより

2016年  
1月・2月  
3月号

季刊 箕面ビジターセンターだより NPO法人みのお山麓保全委員会・大阪府 発行

## 春の到来を告げる黄色い花たち

写真：木山雅博、中瀬重幸、西岡稔

まだ寒い早春のこの時期。ビジターセンターのまわりでも黄色い花たちが目立ちますが、なぜでしょうか？



ミツマタ



ダンコウバイ



ヒュウガミズキ



クロモジ



キブシ

自分で動くことのできない植物は、昆虫に受粉を頼っています。子孫を残すためには、開花している間に昆虫に見つけてもらい、訪問してもらう必要があります。一方、花粉を運ぶ昆虫ですが、虫の種類によって色の見え方が違うようです。早春に活動するハエやアブの仲間は、黄色い花が見えやすいようです。

## 虫たちの冬越し

冷たい空気のはりつめる、静かな冬の森。たくさんの生き物たちはどこで冬を過ごしているのでしょうか。虫たちの越冬の形はさまざま。卵やさなぎで越冬する種が多いのですが、成虫で越冬する種も多くなります。3月に入ると暖かい日には、テングチョウやルリタテハに出会うことが出来るでしょう。



ルリタテハ



テングチョウ



ナミテントウの集団越冬

## 冬の森を歩いてみよう

寒い季節だからこそ、ハイキングをしませんか？山道を歩いていると体がぽかぽか暖かくなってきます。冬だからこそ出会える、幻想的な自然を見つけて下さい。

写真：木山雅博



箕面川ダム



政ノ茶屋園地の雪化粧



## 冬だから出会える鳥たち

木々が落葉したこの季節は、鳥たちを観察しやすい季節です。エナガ、シジュウカラ、コゲラ、メジロなどが梢を飛び交う姿が見られます。地上では、シロハラの外に、イカルにも出会うことができるかもしれません。ジョウビタキやルリビタキの「ヒッ、ヒッ、ヒッ」という鳴き声(地鳴き)も聞こえてくるでしょう。また、冬にみかける水辺の鳥といえば、平地ではカモの仲間をイメージされるかもしれませんが、山の溪流ではカワガラスやキセキレイをよく見かけます。運が良ければ、ミソサザイにも出会えるかもしれません。



ジョウビタキ♂



ルリビタキ♂



キセキレイ

## 春の訪れを告げる花たち

写真: 木山雅博、中瀬重幸

木々が芽吹く前の森には、太陽の光が林床に降り注ぎます。暖められた地面に目をやると小さな妖精が…スプリングエフェメラル(春の妖精)と呼ばれる花々です。木の葉が茂り他の草花が芽を出すと、林床の植物たちは光を巡る競争が始まります。カタクリなどのスプリングエフェメラルはそんな競争のないこの季節に花を咲かせ、次世代につなぐ大切な種子をつくっています。可憐な妖精たちのしたたかな生き残り戦略です。

### 箕面ビジターセンター野草園の開花カレンダー



※フクジュソウ



ミスミソウ

	2月	3月	4月
フクジュソウ	■		
キクザキイチゲ	■	■	
セリバオウレン		■	
ミスミソウ		■	
カタクリ			■
トキワイカリソウ			■



※キクザキイチゲ



セリバオウレン



トキワイカリソウ

※箕面ビジターセンター野草園のスプリングエフェメラル…フクジュソウ、キクザキイチゲ、カタクリなど

## スプリングエフェメラル (春の妖精) カタクリ

箕面ビジターセンターの野草園では、3月中旬ごろ地上部に葉が姿を現し、3月下旬ごろから開花します。

木々が新緑の季節を迎え、林床に日が届かなくなる5月中旬ごろには姿が見えなくなり、地上で見られるのは約2ヶ月です。カタクリの花を訪れる昆虫は、主に受粉を担当するハナバチと種子を運んでくれるアリです。種子にはアリが好む物質が付着しています。

早春は活動している昆虫も少ない季節。この間に、確実に昆虫を訪れてもらうための工夫をしているようです。カタクリは、とても長寿で、平均寿命は、なんと40~50年ほどと推定されています。初めて花を咲かす(=子孫が残せるようになる)まで、7、8年もかかるそうです。



※野草園のカタクリ



出始めの葉



カタクリの花芽



雌しべの周りに6本の雄しべ

毎月 第2日曜は「自然工作」の日！

箕面川ダム周遊 自然観察ツアー

箕面ビジターセンター講義室で、小さな木の実などの自然素材を使って、楽しく自然工作をしましょう！

箕面川ダムの周りをゆっくり歩きながら、野鳥や冬の植物などを楽しく観察しましょう！

1月10日(日)・2月14日(日)・3月13日(日)

3月19日(土)



午後12:30～15:00ごろ  
 ☆少雨決行(警報発表時は中止)  
 ☆箕面ビジターセンター集合  
 ☆参加費:100円 子ども無料  
 ☆申込:当日受付、先着30名  
 ☆協力:一休さんの自然工作教室



午後12:30～15:00ごろ  
 ☆少雨決行(警報発表時は中止)  
 ☆箕面ビジターセンター集合  
 ☆参加費:100円 子ども無料  
 ☆申込:当日受付、先着15名  
 ☆協力:箕面VC自然解説友の会

山火事防止に、ご協力をお願いします。

「政ノ茶屋園地」内での火器の使用について

冬は空気が乾燥しており、いったん山火事が発生すると、急激に燃え広がる恐れがあるために、十分な注意が必要です。  
 山林内でのたき火は禁止です。タバコは許可された場所のみで喫煙し、吸殻は必ず消して投げ捨てはしないでください。  
 携帯コンロは許可された場所のみで利用してください。



政ノ茶屋園地敷地内では、火器使用を禁止していますが炊事棟内(調理台の上)に限って、携帯コンロをご利用できます。箕面ビジターセンターの開館日・開館時間に限り使用可能です。  
 \*大型コンロの使用はできません。火器の取り扱いには十分注意していただきますようお願いいたします。



【お詫び】エナガの写真をヒガラと表記していました。申し訳ありませんでした。

2015年10月・11月・12月号の表2「混群をつくる森の小鳥たち」で、右のエナガの写真をヒガラと間違えて表記していました。

お詫びして訂正させていただきます。

エナガ・・・エナガ科エナガ属

白っぽい小さな体に、長い尾が特徴です。

ヒガラ・・・シジュウカラ科シジュウカラ属

尾は短く、シジュウカラと違って、胸にネクタイ模様はありません。



エナガ



ヒガラ

箕面ビジターセンター (政ノ茶屋園地)

住所: 〒562-0001 箕面市箕面1576 Tel/Fax: 072(723)0649

休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

時間: 10時から16時まで(4月から11月の土日祝は9時30分から17時迄)

※施設や駐車場は利用できませんが、入園は可能

【マイカーご利用の方】新御堂筋国道423号を北上し、白鳥交差点を左折 箕面浄水場を右折し、府道豊中亀岡線を北上(約5km)

【電車ご利用の方】

(1) 阪急箕面線「箕面駅」下車、箕面大滝を經由して徒歩約90分

(2) 阪急バス「千里中央駅」乗車、「勝尾寺」下車徒歩約30～40分

「千里中央④停留所」発車予定時刻

(粟生団地経由、勝尾寺、北摂霊園方面行) \* 午前の時刻表を表示

平日 9:10、11:15 土曜 9:00、10:05、11:10

日祝 9:00、9:55、10:55 \* 時刻表は変更の可能性があります。

「勝尾寺停留所」発車予定時刻

阪急バスにご確認ください。

(千里中央方面行) \* 午後の時刻表を表示

平日 13:28、16:31、17:20 土曜 12:18、13:38、14:21、15:23、16:48、17:20

日祝 12:31、13:38、14:26、15:23、16:48



編集後記: 冬はハイキングや野鳥観察が楽しい季節です。冬だからこそ出会える自然を見つけて下さい。

箕面ビジターセンターの展示室では 季節の自然情報を紹介しています。ぜひ展示室にもお立ち寄りください！

NPO法人みのお山麓保全委員会 Tel/Fax: 072(724) 3615 Eメール: yama-nami@yama-nami.net

Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park



大阪府北部農と緑の総合事務所  
 〒567-0034 茨木市中穂積一丁目3番43号 (大阪府三島府民センタービル内)  
 TEL 072 (627) 1121 (代表) / ファックス 072 (623) 4321  
 ホームページ <http://www.pref.osaka.jp/hokubunm/youkoso/index.html>